2025年度（2026年3月期）
第1四半期決算説明資料

2025年8月8日

H.U.グループホールディングス株式会社

（証券コード: 4544）

※ 本資料では、記載している部分およびEBITDA(営業利益＋減価償却費＋のれん償却費)の数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。

※ 「親会社株主に帰属する当期（四半期、中間）純利益/純損失」を「当期（四半期、中間）純利益/純損失」と省略する場合があります。

※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。

※ 各事業名等については以下のとおり省略する場合があります。

検査・関連サービス事業	: LTS (Lab Testing and its related Services)
臨床検査薬事業	: IVD (In-Vitro Diagnostics)
ヘルスケア関連サービス事業	: HS (Healthcare-related Services)

※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2024年度1Q	: 1USD＝155.89 JPY	1EURO＝ 167.89 JPY
2025年度1Q	: 1USD＝144.61 JPY	1EURO＝ 163.80 JPY

Executive Summary

連結	• 営業利益は約8.7億円。計画に対して順調な進捗 　• YoY：＋2.5億円、QoQ：＋8.9億円 • M&A関連費用（4.7億）の影響を除いた実質的な営業利益は13.4億円
LTS	• 遺伝子関連検査および特殊検査が堅調に成長 • サービスレベル・販売価格の適正化を含めた限界利益の増加等により、H.U. Bioness Complex関連の一時コスト※を吸収し、増益を達成 • H.U. Bioness Complexが完全稼働、今後収益性改善を加速 　• 旧システム（メインフレーム）のシャットダウンが完了。7月以降、効率化効果が実現 • 営業利益は計画通り
IVD	• NEURO売上は引き続き高成長（今期約17億円、YoY 2倍） • CDMO売上は堅調に推移（為替影響を除きYoY+4%） • M&A関連費用を除いたベース事業による営業利益は計画通り

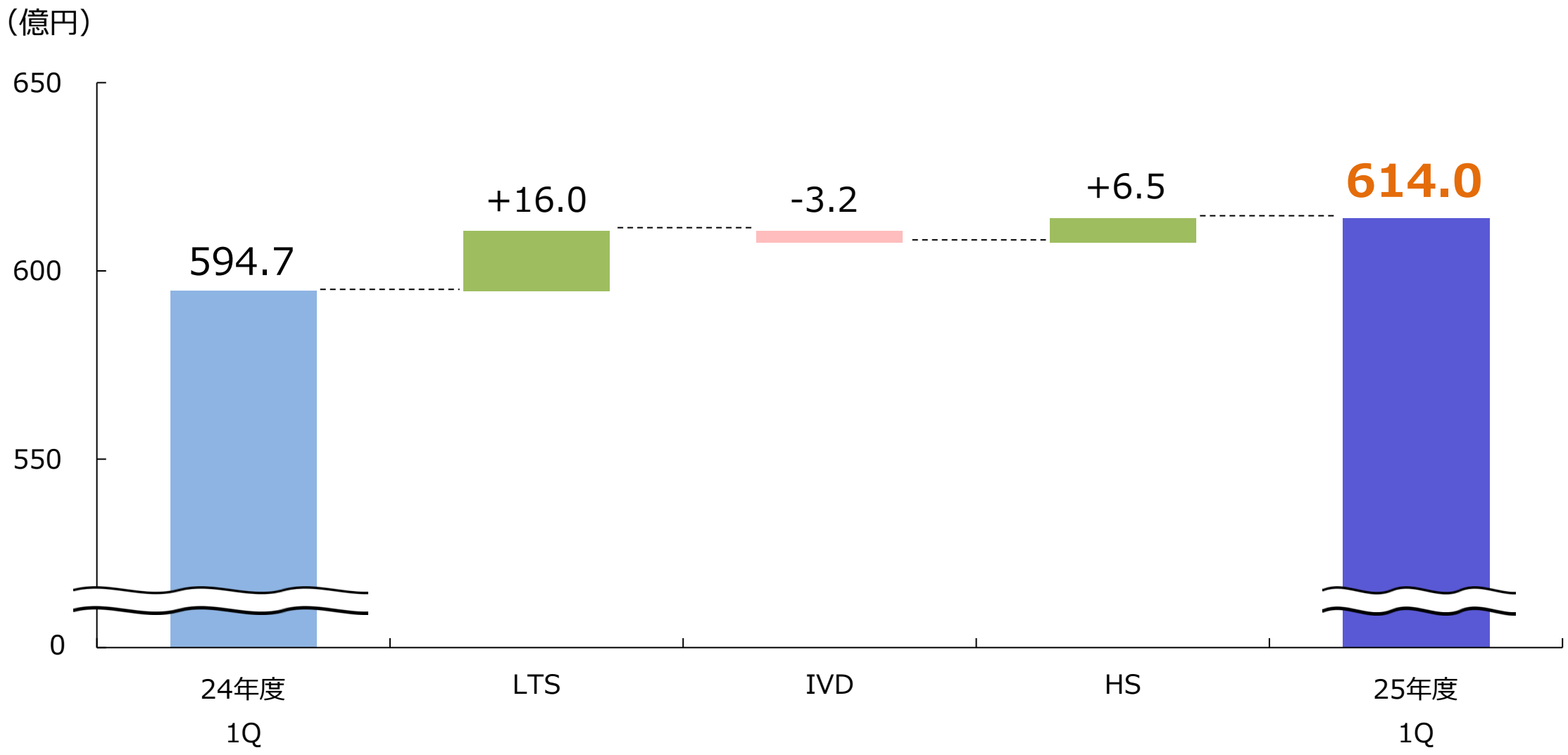
※ 稼働後のハイパーケア（システム移管直後に限定したトラブル対応体制整備のためのコスト）および旧システム（メインフレーム）のシャットダウン対応

連結業績（対前年同期比）

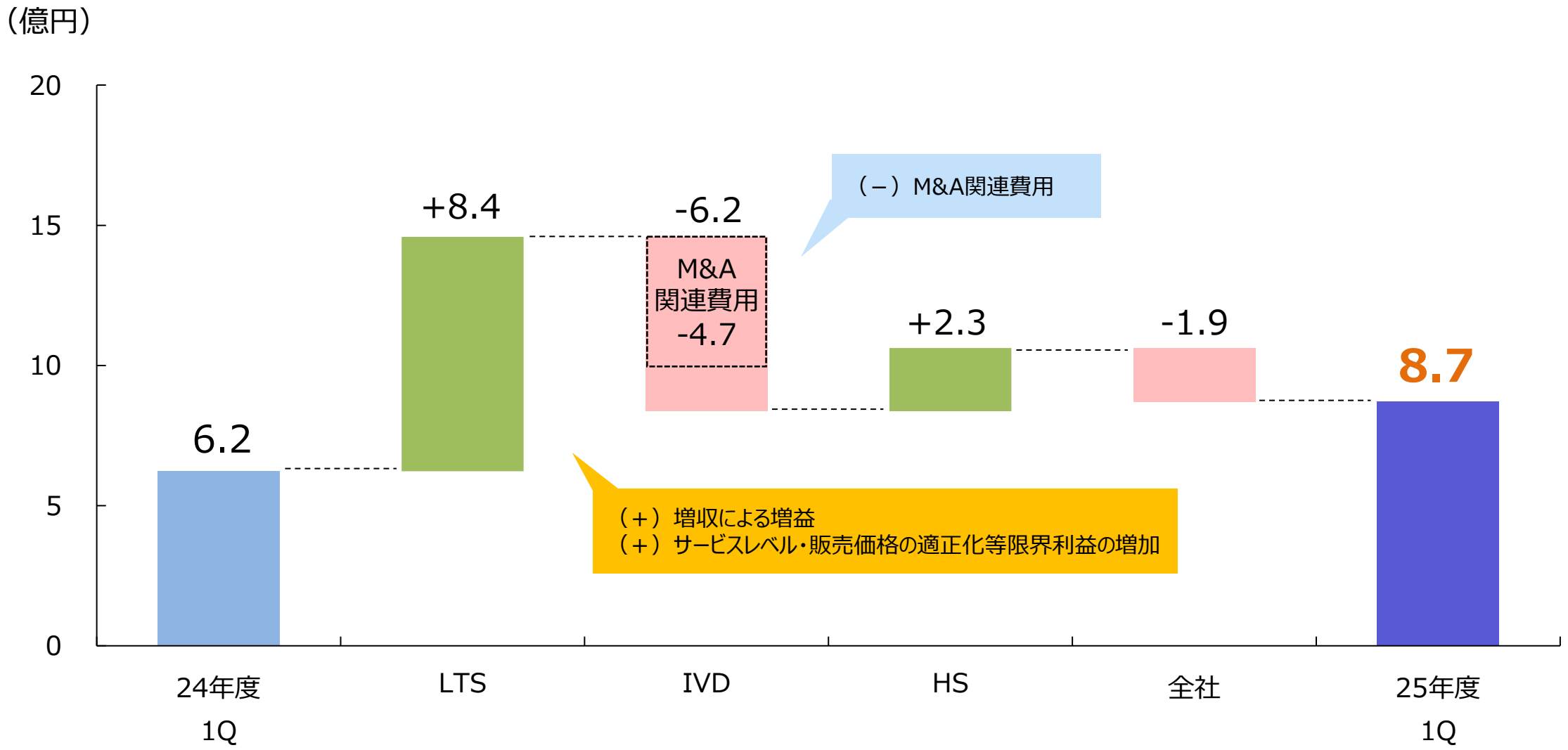
（億円）

	24年度 1Q 実績	利益率	25年度 1Q 実績	利益率	対前年同期比 増減	
売上高	**594.7**		**614.0**		**+19.3**	**+3.2%**
LTS	377.0		393.0		+16.0	+4.2%
IVD	144.2		141.0		-3.2	-2.2%
HS	73.4		79.9		+6.5	+8.9%
EBITDA	**56.8**	**9.6%**	**63.1**	**10.3%**	**+6.3**	**+11.0%**
LTS	13.9	3.7%	26.2	6.7%	+12.4	+88.9%
IVD	42.4	29.4%	36.4	25.8%	-6.1	-14.3%
HS	9.1	12.4%	11.4	14.2%	+2.2	+24.5%
全社	-8.6		-10.9		-2.2	–
営業利益/損失	**6.2**	**1.0%**	**8.7**	**1.4%**	**+2.5**	**+39.9%**
LTS	-16.4	-4.3%	-8.0	-2.0%	+8.4	–
IVD	29.3	20.3%	23.1	16.4%	-6.2	-21.2%
HS	5.3	7.2%	7.5	9.4%	+2.3	+42.8%
全社	-12.0		-13.9		-1.9	–
経常利益/損失	**6.4**	**1.1%**	**-4.9**	**-0.8%**	**-11.3**	**–**
四半期純利益/純損失	**1.8**	**0.3%**	**-12.0**	**-2.0%**	**-13.7**	**–**

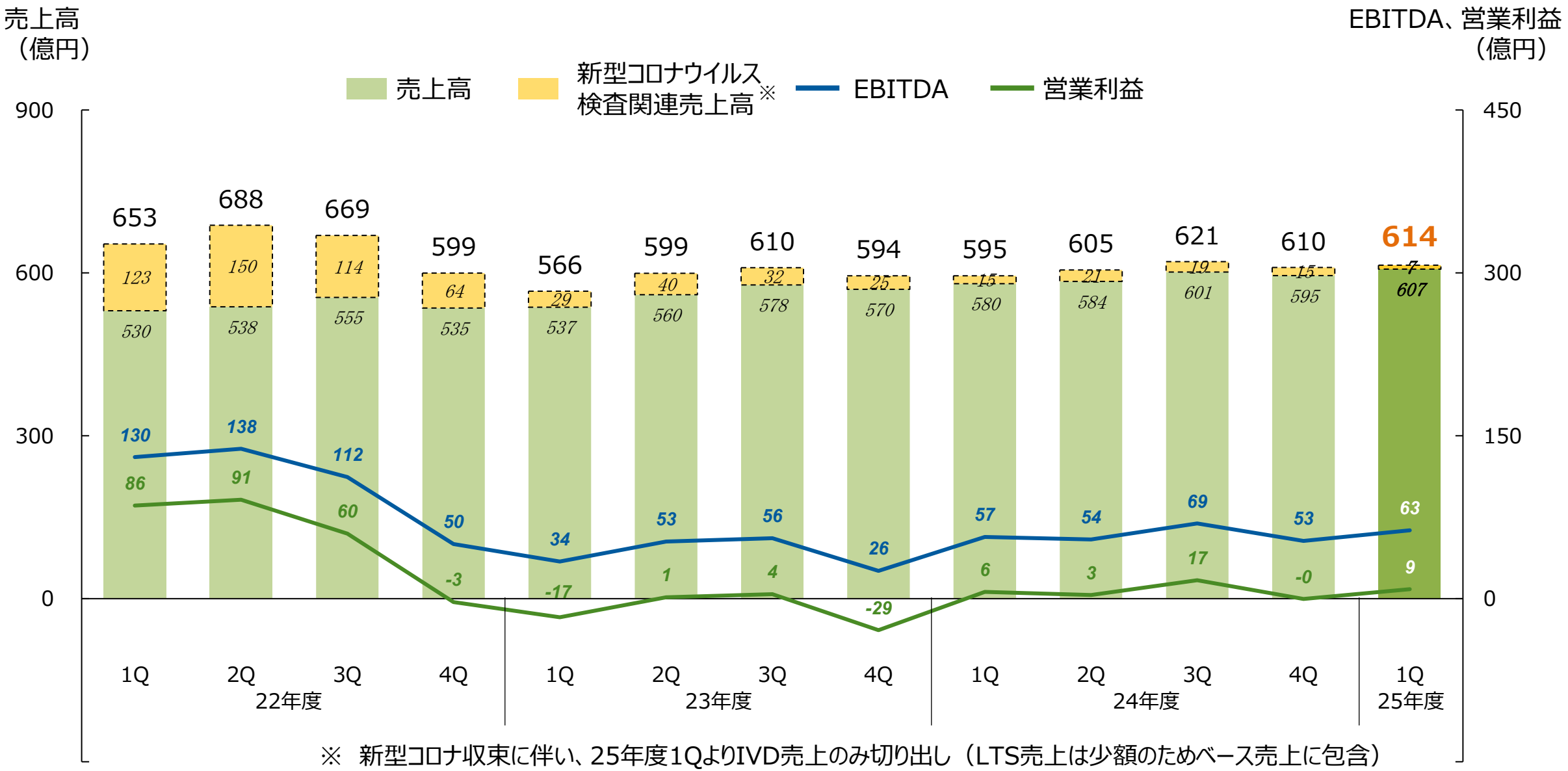
25年度1Q連結売上高（対前年同期比）



25年度1Q連結営業利益（対前年同期比）



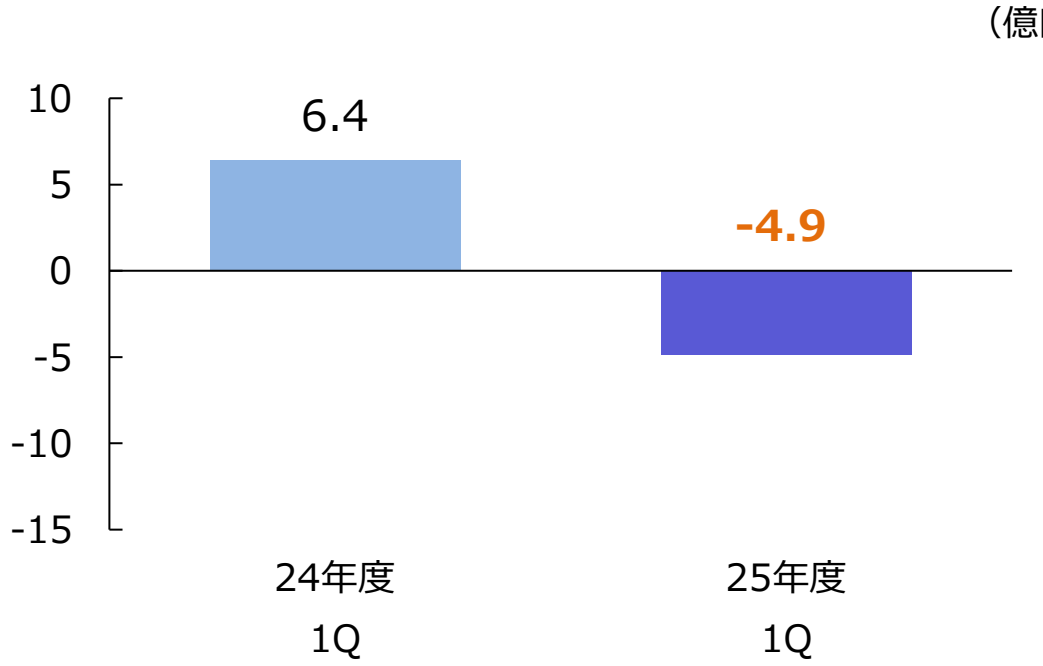
四半期毎の業績推移



※ 新型コロナ収束に伴い、25年度1QよりIVD売上のみ切り出し（LTS売上は少額のためベース売上に包含）

連結経常利益/損失および四半期純利益/純損失（対前年同期比）

経常利益/損失

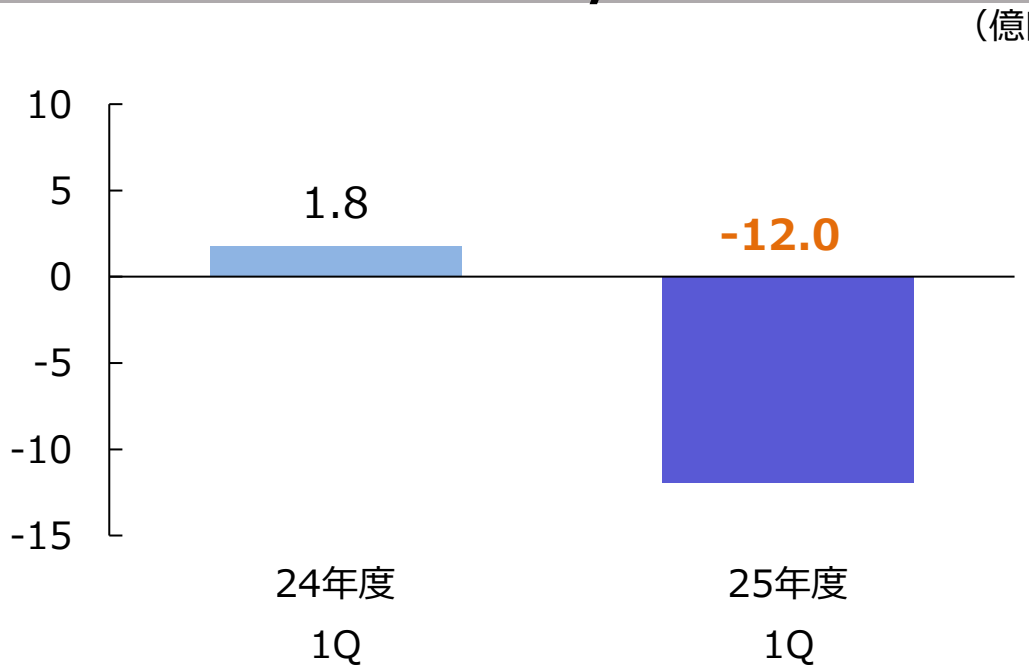


主な営業外損益

・為替差損　5.7億円
（前期は為替差益：8.7億円）

・持分法による投資損失（BMGL等）　4.5億円
（前期：5.2億円【BMGL：1.7億円、平安JV：3.4億円】）

四半期純利益/純損失



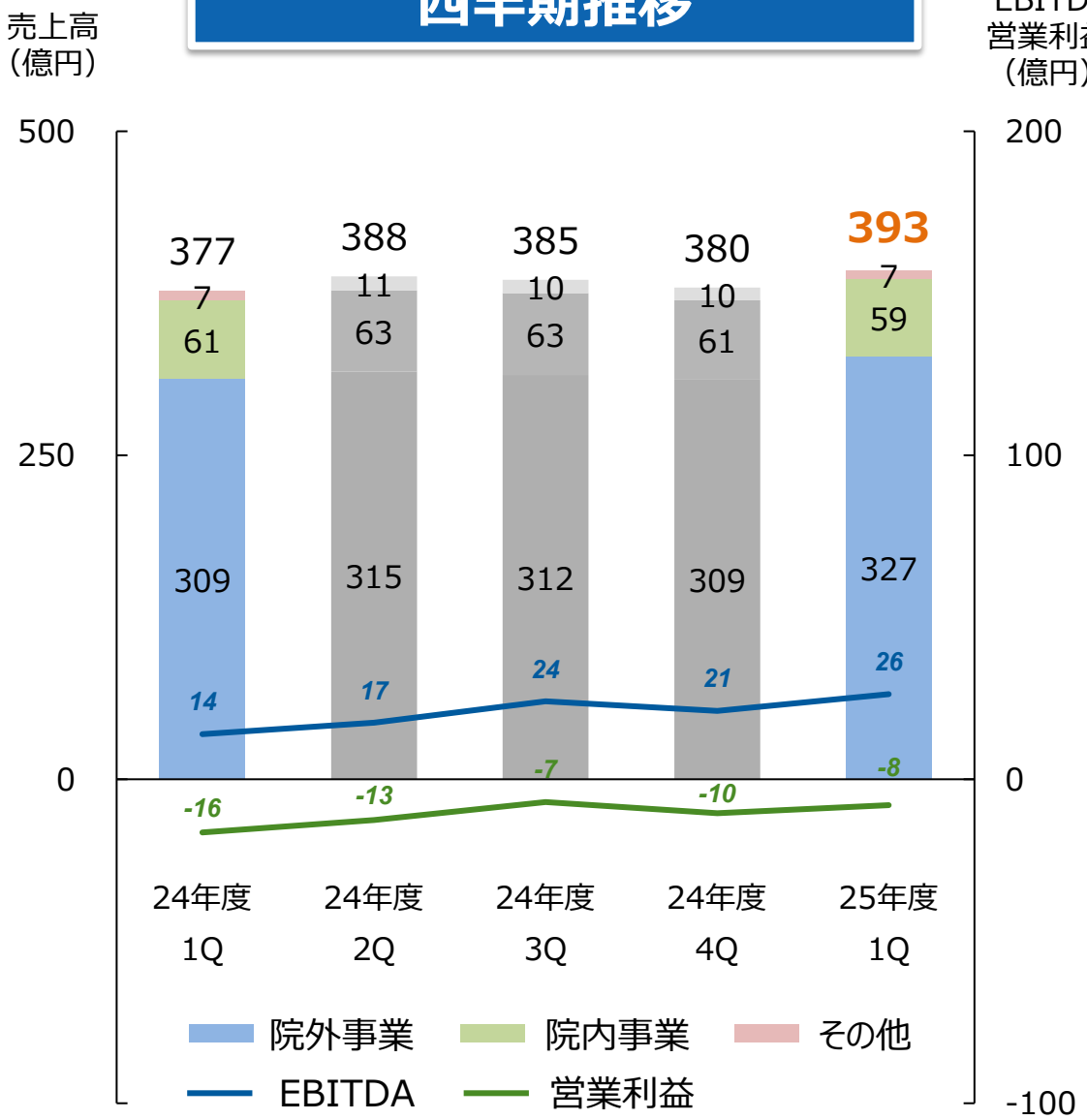
主な特別損益

・固定資産除却損　2.9億円
（SRL旧システムのシャットダウンに伴う除却）

※ 前期は特別利益6.8億円を計上

LTS事業

四半期推移



対前年同期比

（億円）

	24年度 1Q		25年度 1Q		対前年同期比 増減	
売上高	377.0		393.0		+16.0	+4.2%
院外事業	308.9		326.8		+17.8	+5.8%
院内事業	60.9		59.4		-1.5	-2.5%
その他	7.2		6.8		-0.3	-4.6%
EBITDA 利益率	13.9	3.7%	26.2	6.7%	+12.4	+88.9%
営業利益 利益率	-16.4	-4.3%	-8.0	-2.0%	+8.4	―

売上高

- 遺伝子関連検査（+7%）、特殊検査（+7%）の伸長

営業利益

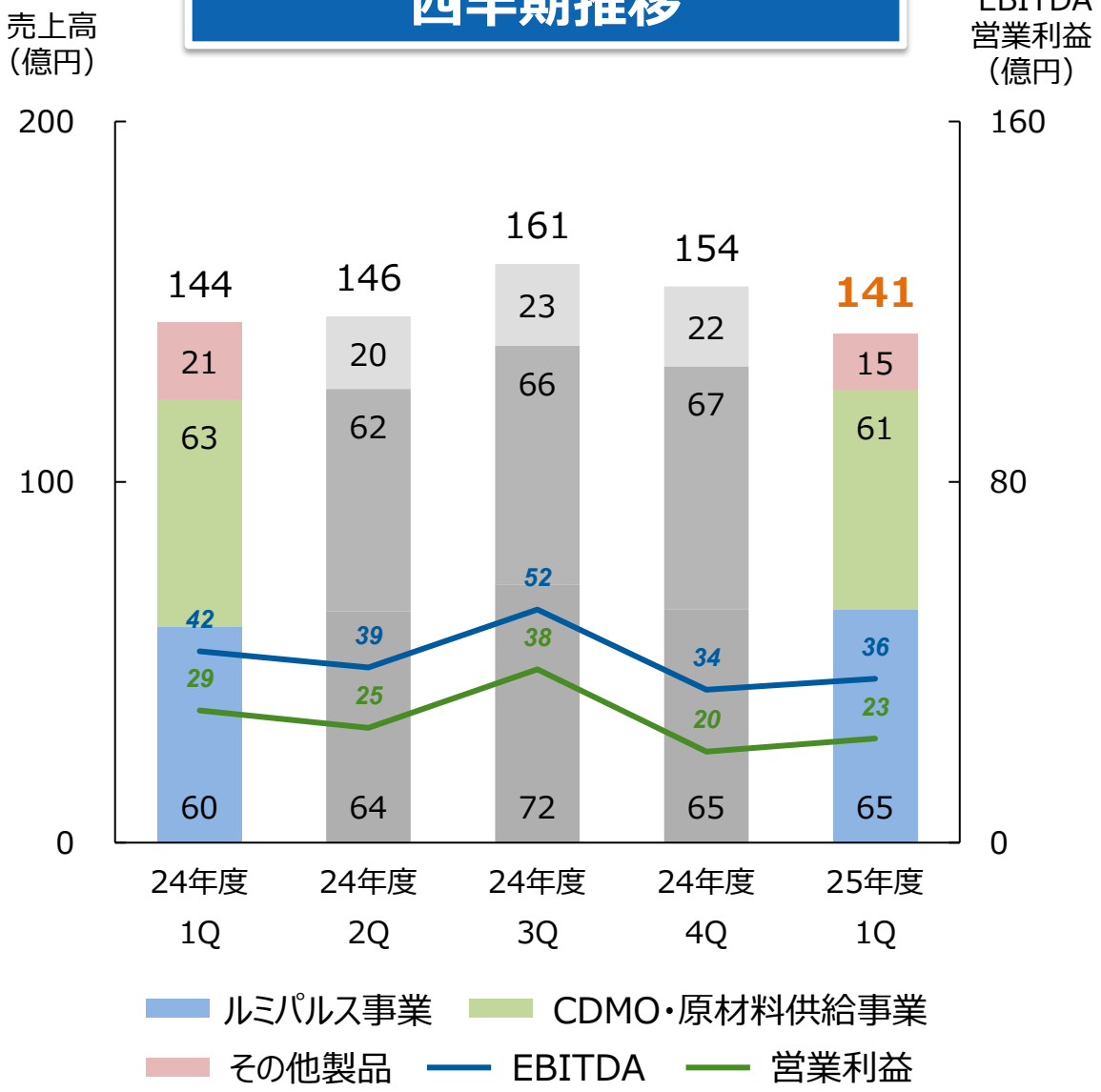
- 増収による増益
- サービスレベル・販売価格の適正化等、限界利益の増加
- H.U. Bioness Complex関連費用は増加。一時費用を除くとセグメント営業利益は黒字化

（億円）

H.U. Bioness Complex関連費用	24年度_1Q	25年度_1Q
一時費用	5	9
減価償却費	15	20
ランニングコスト	15	15
コスト合計	34	44

IVD事業

四半期推移



対前年同期比

（億円）

	24年度 1Q		25年度 1Q		対前年同期比 増減	
売上高	144.2		141.0		-3.2	-2.2%
ルミパルス	59.9		64.7		+4.9	+8.2%
国内	47.3		44.6		-2.7	-5.6%
海外	12.6		20.1		+7.6	+60.1%
CDMO・原材料	63.0		60.8		-2.2	-3.5%
その他	21.4		15.5		-5.9	-27.6%
EBITDA 利益率	42.4	29.4%	36.4	25.8%	-6.1	-14.3%
営業利益 利益率	29.3	20.3%	23.1	16.4%	-6.2	-21.2%
ルミパルス 内販売上高	9.6		8.1		-1.5	-15.9%

売上高 *為替影響を除く

- ベース事業はNEUROおよびCDMOを中心に成長（YoY*+5%）
  - 海外ルミパルス NEURO：約17億円（YoY 2倍）
  - CDMO事業は堅調に成長（YoY*+4%）
- 新型コロナウイルス関連：約7億円（前年同期:約11億円）

営業利益

- M&A関連費用（4.7億円）

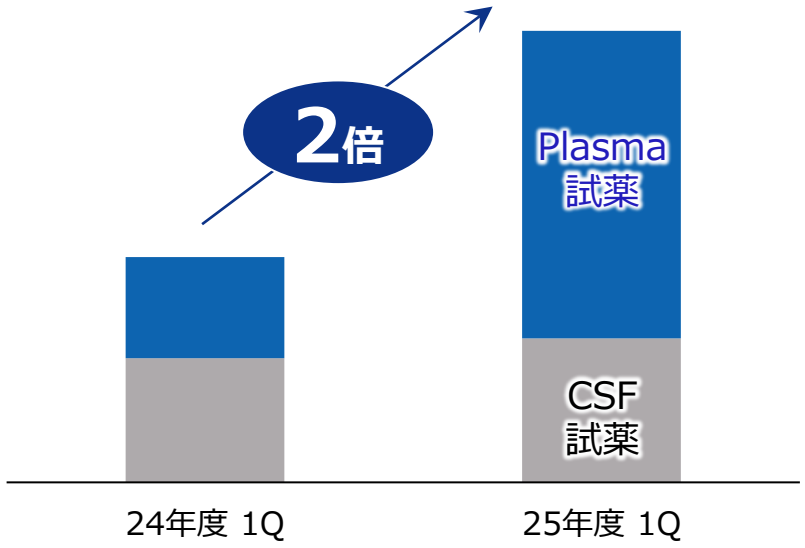
為替影響（売上高：-5.8億円、営業利益：-0.8億円）

IVDトピックス①：NEURO

ルミパルスNEURO試薬の販売状況

- **Plasma用試薬の伸長がNEURO試薬の売上高成長を牽引**
  - ✓ 米国・欧州市場を中心とした売上高成長
  - ✓ Plasma pTau217およびβ-アミロイド1-42試薬以外にも、その他RUO試薬も順調に販売

ルミパルスNEURO試薬の売上高の推移・内訳



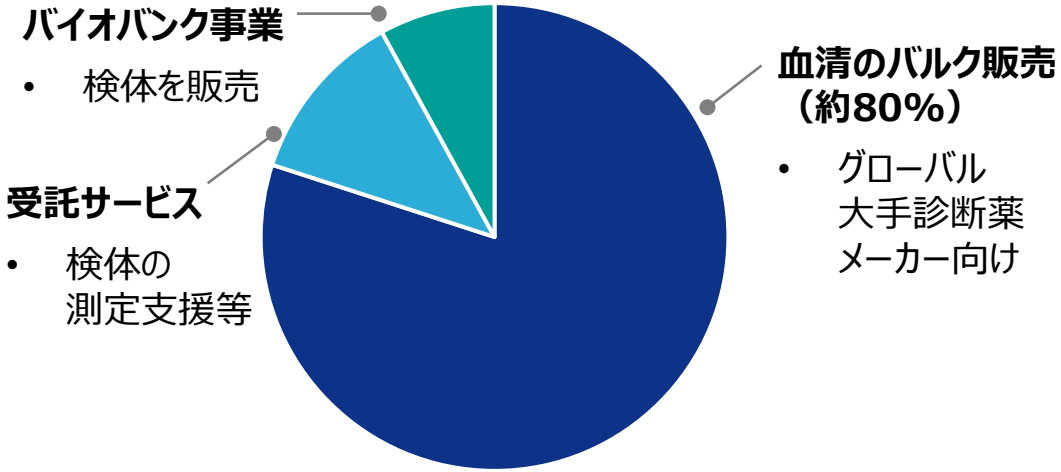
各国薬事申請・承認状況

- **米国は、現地時間5/16にFDA承認を取得**
  - ✓ Plasma pTau217およびβ-アミロイド1-42比率を測定する試薬
  - ✓ アルツハイマー病診断補助のPlasma pTau217測定試薬として世界初の承認
- **日本および欧州は、本年中の申請を目指して、準備中**
- **インドは、現地パートナー企業を通じて、承認取得済み（6月）**
- **中国は、現地パートナー企業を通じて、申請準備中**

IVDトピックス②：M&A

事業の概要

- ✓ 社名：　Plasma Services Group（以下「PSG」）
- ✓ 設立：　2004年
- ✓ 所在地：　米国 ニュージャージー州
- ✓ 社員数：　13名
- ✓ 事業ポートフォリオ：

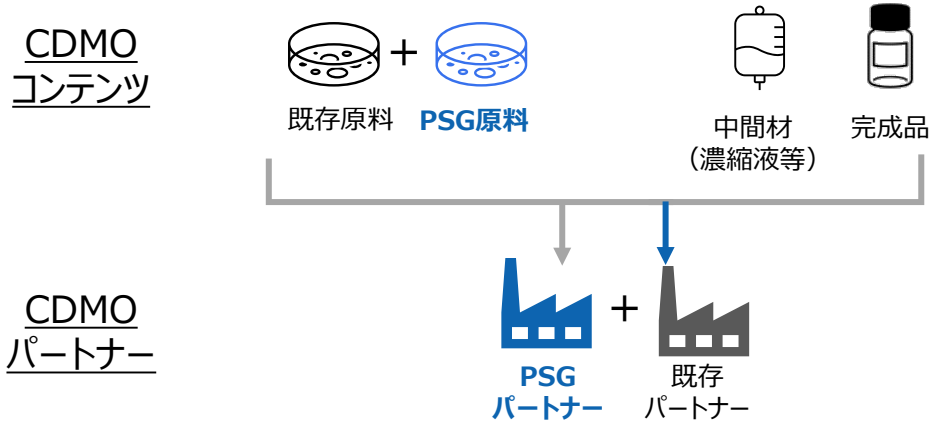


（当社推計）血液検体販売のグローバル市場成長率：10%/年

戦略的な意義

- **当社CDMO事業の戦略的強化**

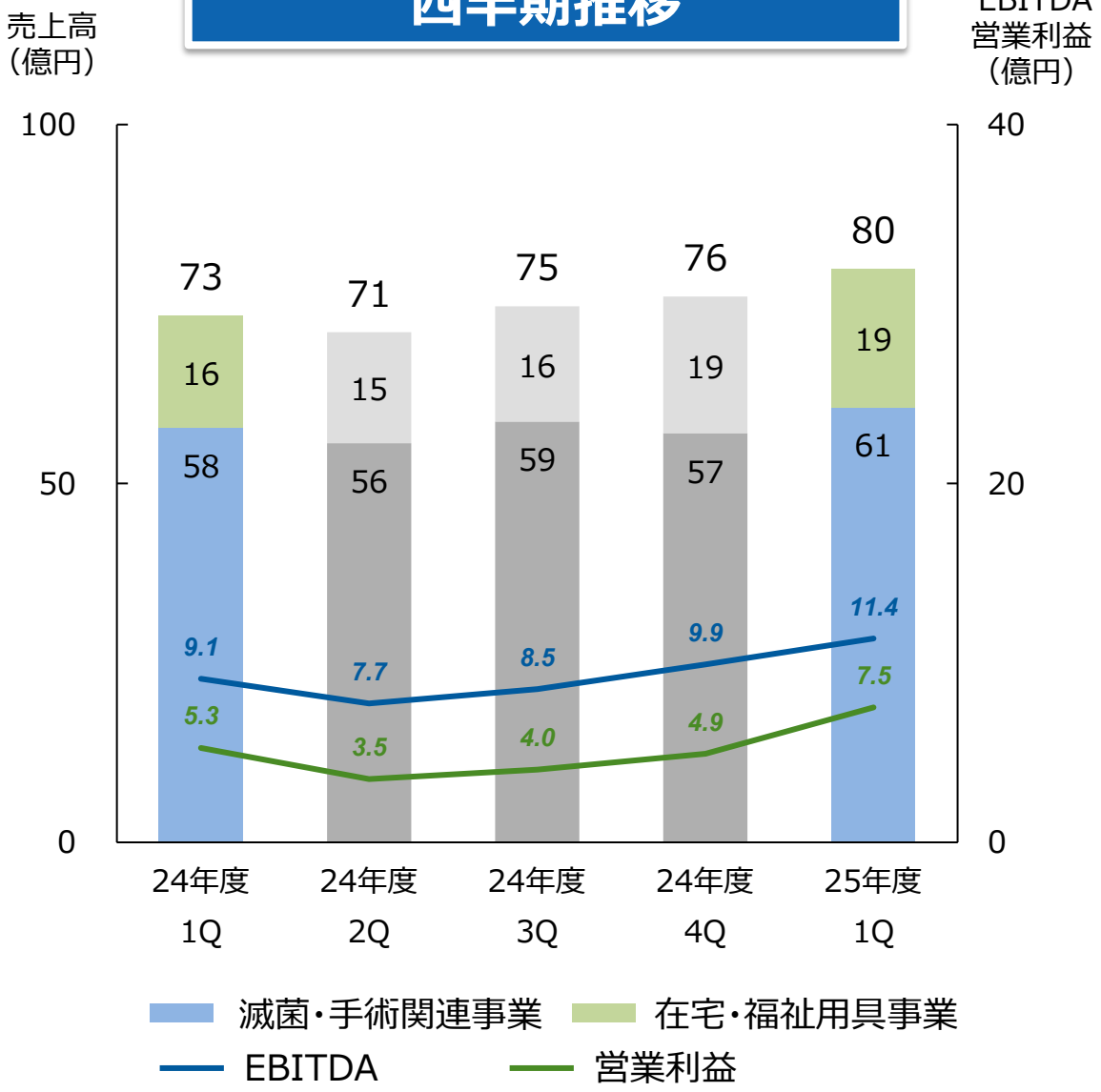
  「**コンテンツ**の拡大」 × 「**パートナー**の拡大」



- **付加価値の高い試薬開発の迅速化に貢献**
  - ✓ 開発する試薬の性能評価時に必要となる希少な臨床検体を自社ルートで入手可能

HS事業

四半期推移



対前年同期比

（億円）

		24年度 1Q		25年度 1Q		対前年同期比 増減	
売上高		73.4		79.9		+6.5	+8.9%
	滅菌・手術関連	57.7		60.6		+2.9	+5.0%
	在宅・福祉用具	15.7		19.3		+3.6	+23.2%
EBITDA	利益率	9.1	12.4%	11.4	14.2%	+2.2	+24.5%
営業利益	利益率	5.3	7.2%	7.5	9.4%	+2.3	+42.8%

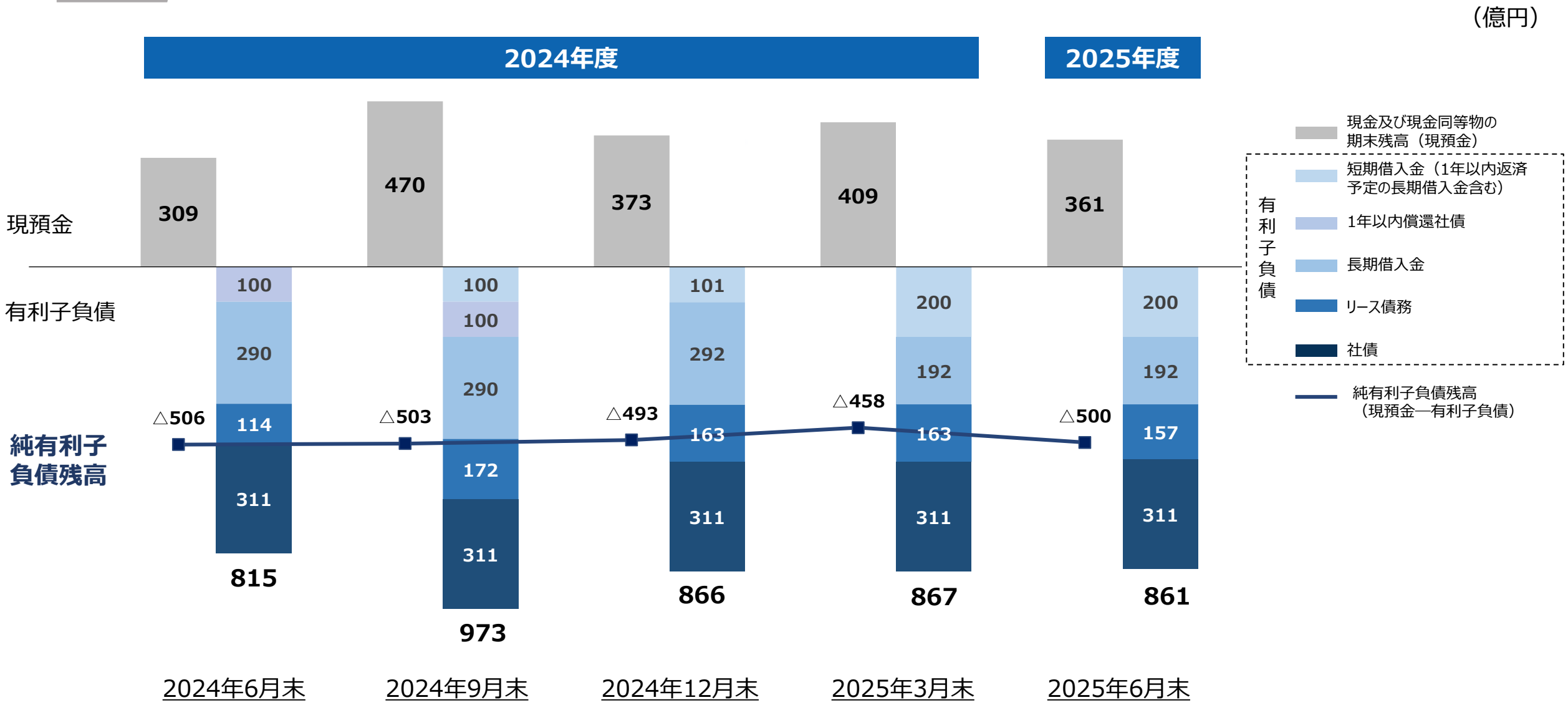
売上高

- 滅菌・手術関連事業：堅調に推移
- 在宅事業：2024年12月から連結子会社化したガイアメディケアの売上寄与

営業利益

- 滅菌・手術関連事業の増収および価格の適正化による増益

現預金・有利子負債残高


（億円）
2024年度
2025年度
現預金
有利子負債
純有利子負債残高
309
470
373
409
361
100
290
114
311
815
100
100
290
172
311
973
101
292
163
311
866
200
192
163
311
867
200
192
157
311
861
△506
△503
△493
△458
△500
2024年6月末
2024年9月末
2024年12月末
2025年3月末
2025年6月末
現金及び現金同等物の期末残高（現預金）
有利子負債
短期借入金（1年以内返済予定の長期借入金含む）
1年以内償還社債
長期借入金
リース債務
社債
純有利子負債残高（現預金―有利子負債）

【連絡先】

H.U.グループホールディングス株式会社

IR/SR部　ir@hugp.com

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。